

第1部 《写真のテーマとその内容表現について考える》

第1回 2023 12/12(火)	風景、人物、ドキュメンタリーなど 各写真のジャンルの名作を「日本現代写真史」(平凡社刊)より読み解く。
第2回 12/13(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは土門拳「風貌」。
第3回 2024 1/10(火)	棚田、ため池をめぐる自然環境と、野山の四季の姿、山遊びの楽しさを撮る。 「山菜手帳」(平凡社カラー新書)、写真集「棚田」「ため池の四季」より。
第4回 1/11(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは木之下見「石を聞く肖像」。
第5回 2/13(火)	農は人間を生かす力。農の営みの多様な姿とその魅力をどのように捉えるか。 鹿児島島のフォト農美展の作品から学ぶ。
第6回 2/14(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは藤井梵「現世流転(うつしよるてん)」。
第7回 3/12(火)	子どもたちの育つ力、学ぶ力を撮る。 集団のなかで生命を躍動させる保育園児と小学校1年生の一年間の記録。 月刊誌のグラビア連載と写真集「子どもたちの四季」より。
第8回 3/13(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは「よみがえる日本の近代」(ニコンサロンブックス)。
第9回 4/9(火)	中学校の教育実践“池中の合唱”と“和光中の遠泳合宿”、 月刊誌《考える高校生》のクラブ活動などに見る青春群像を撮る。 写真集「1700人の交響詩」ほかより。
第10回 4/10(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは山口保「時軸」。

第2部 《撮った写真を面白く効果的に見せる方法を考える》

第1回 2024 6/11(火)	英伸三フォトドキュメント「一所懸命の時代」から集団就職、町工場の春闘、「新富嶽百景」などの写真は、今何を伝えているか。写真の記録性について考える。
第2回 6/12(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーはウィリアム・クライン「ROME」。
第3回 7/9(火)	組写真のページ構成。 タイトルを入れるトップ写真とヨコ位置見開き写真の撮り方、選び方について。 月刊誌「世界」と週刊誌「朝日ジャーナル」のグラビアを事例に。
第4回 7/10(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは富山治夫「佐渡」。
第5回 8/6(火)	3枚組の組写真のまとめ方と1枚の写真の効果的に見せるミニ・アルバムの作り方について。写真集「里と農の記憶」の写真を教材に。
第6回 8/7(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーはカール・マイダンス「激動の日本の目撃者」。
第7回 9/10(火)	写真と映画の映像表現の共通点について往年の名画のファースト・シーンから学ぶ。「白い馬」(フランス1953年)「雁が飛んでいく」(ソ連1957年)「越境者」(イタリア1950年)など。
第8回 9/11(水)	受講生の写真にアドバイス。 必見写真集のレクチャーは映画のスチール写真「東映・大川橋蔵」。
第9回 10/8(火)	まちを撮つてどのようにまとめ、面白く効果的にみせるか。 東京と上海のまち歩き撮影でまとめた写真展「東京日曜日記」と写真集「上海天空下」「上海魯迅公園の朝」で。
第10回 10/11(水)	受講生の写真にアドバイス。必見写真集のレクチャーは佐藤英太郎「時時時節(ときよじせつ)ー仙台駅裏再開発の記録」。